



2025年1月31日

各 位

会社名 株式会社 W e l b y
代表者名 代表取締役 比木 武
(コード番号：4438 東証グロース)
問合せ先 コーポレート部 副部長 中沢 大樹
(TEL. 03-6206-2937)

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年12月期において、特別損失（減損損失）の計上を行いました。

また、本日開催の取締役会において、2024年8月13日に公表いたしました2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の通期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社の保有する固定資産（ソフトウェア等）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、直近の業績の動向を踏まえ、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、161百万円を減損損失として計上することといたしました。

2. 業績予想の修正

(1) 2024年12月期通期業績予想の修正 (2024年1月1日～2024年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 連結当期純利 益
前回発表予想（A）	百万円 1,173	百万円 △164	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想（B）	528	△654	△655	△804	△98.61
増減額（B－A）	△645	△490	—	—	—
増減率（％）	△54.9	—	—	—	—
（参考）前期実績 （2023年12月期）	575	△437	△438	△505	△64.51

(2) 差異が生じた理由

以下の理由により、売上高の見通しは528百万円となり前回予想を645百万円下回る見通しとなりました。

- ① 売上高については、疾患ソリューションサービスにおいて、主要顧客である外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期会計期間に売上が顕著に大きくなるという当社の業績の季節的変動性がある中、同四半期に売上高を実現するための営業及び納品を進める過程で、期初より予定していた製薬会社の依頼によるPHR(※)サービス及び当社のPHRプラットフォーム案件の受注見込みのズレ、また案件長期化による受注遅れ、及び期中における新規案件の積み上げ不足等により社内

予想 607 百万円より 200 百万円減少し 407 百万円となる見込みとなりました。PHR プラットフォーム案件については、主要な機能開発は終了しているため、今後は開発コストを限定しながら安定的な収益を実現できる見込みです。

- ② Welby マイカルテサービスにおいては、株式会社 Welby ヘルスケアソリューションズにおける保険者向け事業開発の遅れ、当社においてヘルスケア事業に新規参入する企業に対して当社の PHR プラットフォームを提供する営業活動を実施していましたが、案件の受注リードタイムが当初想定より長期化したことによる受注遅れ、及び一部想定していた案件の見込みのズレにより社内予想 564 百万円より 444 百万円減少して 120 百万円となる見込みとなりました。株式会社 Welby ヘルスケアソリューションズにおいては、既に複数の健康保険組合のみなし健診への参画が決定しており、今後は自治体も含めて参画する保険者数が拡大していく見込みです。また、当期に獲得したみなし健診承諾医療機関とそれに紐づくみなし健診対象者を来期以降も活用できるため、損益分岐点を超えれば利益率が高くなる見込みです。

売上総利益については、売上高の減少により減少しましたが、売上総利益率としては PHR プラットフォーム基盤の継続強化のための開発投資による開発コストの低減により社内予想より 3.9% 良化し、71.9% となる見通しとなりました。

以上の結果、連結売上高、連結営業利益は上記のように前回予想を下回る見通しとなりました。

※「PHR」とは、個人によって電子的に管理される自らの健康・医療情報のことを指します。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上